



第91号

～礼儀と節度を考える～

平成武師道 (人間活動学)

「コメンテーター道」

10月から東京のテレビでコメンテーターの仕事 시작했다。

しかも生放送。

12年あまりテレビ出演から遠ざかっていた私にとっては、本当に有り難い事である。

ただ、コメンテーターとしては初心者なので、不安な気持ちもあった。

武師道の講演など人前で話すことには慣れていたつもりであったが、テレビでの生は全く違う。

ゲストだったら良いのかもしれないが、レギュラーとなると自分の意見ばかり話し過ぎても良くない。

他の出演者との間を読みながら、まずは結論から始め、短い説明を補足させていかなければならないのだ。

私はレギュラー2日目にしてスタッフに怒られてしまった。喋り過ぎ。

他の出演者の話を遮る。

話が長い。

声がデカ過ぎる。

下ネタがダイレクト。

その日は思い切り落ち込んでしまった。

家に帰るとすぐにノートに反省箇所を書き出し、しっかりと頭に叩き込んだ。

空気を読む。

焦らない。

結論、説明、ショートセンテンス。

そして元気良く。

佐竹ならではの立場のコメント。



コメンテーター道の奥は深い。

お茶の間でテレビを観ているのとは全く違う。

本当に難しい仕事だ。

でもやりがいはある。

電波を通じて、多くの視聴者に武師道の考えを少しでも理解してもらえれば素晴らしい事ではないか。

番組上、バカ話も多いが、私のコメントは一つでも心に響くものを話そうと心掛けている。

レギュラーになり1か月が過ぎた。

今では何とかスタッフから怒られる事も少なくなってきた。

それでもこの先ずっと気を抜くことは許されない。

昔は拳と足が武器だったが、これからは話す事をもっと磨かなければいけないのだ。

50歳になっても、怒って注意やアドバイスをしてくれる人がいるだけで、本当に有り難くも思う。

落ち込んでいる場合ではない。

これからも良い考えを良い言葉で伝えていく為に、もっと心のネジを巻いて、いろいろとチャレンジしていくつもりだ。